



体育指導委員つて

ご存知ですか？

リポーター 本多カナ子(餌釣)

「スポーツの秋も終わり、いよいよウィンタースポーツのシーズン到来です。雪国の特権とでもいいますか、一年を通じてさまざまなスポーツが体験できることは、大変ありがたいことです。」

ところで皆さんは、市や地区公民館が主催しているスポーツ事業の企画・立案をしたり、手助けをしたりする人たちがいるということをご存知でしたか。今回は、この人たちの活動の内容・役割などをリポートしてみようと、市教育委員会体育課を訪ねてみました。

熱意をもつて

取り組む人たちが

「大館市体育指導委員」というのが、その人たちの職名でした。「私たちは、略して「体指」と呼んでいます。体指の主な仕事は、市のスポーツ振興のため、市民に対し、スポーツの実技指導や助言をすることです。スポーツに関する深い関心と理解をもつて

いる人、そして熱意と能力がある人の中から、二年に一度、二十五人を選んで教育委員会が委嘱しています」と体育課長の浅野さん。

大館市で「体育指導委員」制度ができたのは、昭和三十七年とのことです。当時は、スポーツ団体等からの推せんにより委員を委嘱していたようですが、現在は各地区に根ざしたスポーツ活動をしている人の中から選んでいるそうです。

体指の名簿を見せていただきましたが、設置時からずっと務めているベテラン委員から、まだ二年目という新人委員まで各年代、各スポーツの指導者たちが顔をそろえており、層の厚さがうかがえました。また職業も、教員、主婦、農業、公務員、会社員、自営業などとさまざまでした。

このように各分野の人たちですの、当然のことながら会議等は午後五時以降になります。しかし、仕事が終わってからもかかわらず、出席率は高いそ

うです。これは体指の皆さんが社会体育の向上に熱意をもつて取り組んでいる表れだと思えました。

多岐にわたる活動

それでは、体指の具体的な活動内容としては、どのようなことがあるのでしょうか。

「体指の活動は多岐にわたっ



▶本多リポーター(左)と浅野課長

ています。市民大運動会や市民スキー大会、市民家庭バレーボール大会等の競技役員としての協力をはじめ、体育課主催の各種スポーツ講習会・教室の企画・運営、地区公民館主催のスポーツ事業への協力、そして今年各地区で発足したスポーツ振興会への積極的な参加などが皆さんの目に止まる活動でしょう。もちろん、直接の実技指導等もいろいろな場所で、さまざまな年代を対象に行っています」と浅野さんは話します。

体指の活動でこれらのほかに、私たちの目に止まりにくいけれども重要な仕事があるそうです。それは、私たちの生活の中へスポーツを定着させること、つまり、だれもが手軽にできるようなスポーツを体指自身が修得したり考案したりして、市民へ普及させることだそうです。

皆さんも一度くらいは、家庭バレーボールをやったことがあるりませんか。現在、市民の間で気軽にできるスポーツとして親しまれている家庭バレーボールは、県体育指導員連絡協議会が考案し、各市町村の体指が普及したとのことでした。

今、体指が普及しようと力を入れているスポーツは、「綱引き」だそうです。先月の二十六日、市民体育館で行われた市民綱引き大会を見ましたが、審判

をやっていたのは全て体指の人たちということでした。昨年の大会よりも参加チームが増えたそうです。綱引きが市民の間に広がりつつあることを実感しました。新しいスポーツを普及させていくときの苦勞は、並大抵ではないと思いますが、これからは私たちにいろいろなスポーツを広めてくれるよう、体指の皆さんにお願したいと思います。

ますます重要になる体指の役割

ここ数年で、市内の体育施設はかなり整備されました。私たちがスポーツをしようと思えば、いつでも気軽に利用できます。しかし、どんなスポーツをしたらよいのか、どのように体を動かしたらよいのか、私を含めわからない人がたくさんいます。このリポートを通じ、そんな人たちがスポーツを広め、健康で明るく楽しい生活を送るための手助けをしてくれるのが「体指」だと分かりました。

大館市は、スポーツ都市を言っています。それにふさわしい人づくり・街づくりに向けて、体指が果たすべき役割は大きなものがあると考えます。

体指の皆さん、大変な役目だと思いますが、これからも市民のために頑張ってください。